

にじいろたまご

セクシュアルマイノリティ・ボランティアサークル

スクランブルエッグ

<http://gochamazetamago.>

main.jp/



今年も青森の暑い夏がやってきます！ 青森国際ナショナルLGBT フィルムフェスティバル&多様な性にYES！ IDAHO メッセージ展では是非お会いしましょう(*^^*)

「多様な性に YES！ IDAHO メッセージ展」今年も開催！

■日時：2015年7月11日（土）12:00～18:00

■会場：青森市新町1-3-7

アウガ5F カダール AV 多機能ホール前

※青森国際ナショナルLGBT フィルムフェスティバル会場前



当日にメッセージをご記入いただけるコーナーも！

毎年5月17日は、IDAHOT (International Day Against Homophobia and Transphobia: 国際反ホモフォビア&反トランスフォビアの日)。同性愛やトランスジェンダー等への嫌悪や差別に反対する日として、世界中でイベントが開催されます。

日本でも「多様な性に YES の日」として記念日になっており、メッセージを募集し街頭で読み上げるアクションなどが行われています。

当サークルでは、IDAHOT にちなんで各地から寄せられたメッセージを紹介する展示を2009年から開催しています。2011年からは、青森国際ナショナルLGBT フィルムフェスティバルとコラボして、映画祭会場前にて開催しています。

※近年、IDAHO から IDAHOT に表記が変更されていますが、当サークルのイベント名としては現在のところ以前の表記で行っています。

同日開催！多様な性を考える映画祭

第10回 青森国際ナショナル LGBT フィルムフェスティバル

■プログラム

13:00～13:55 「SRS みありきたりなふたり早」

14:15～15:30 「I AM」

15:50～17:30 「カミングアウト」

■前売券販売

・青森松竹アムゼ

・サンロード青森1F 総合サービスカウンター

・成田本店しんまち店プレイガイド

■お問い合わせ先

青森国際ナショナルLGBT フィルムフェスティバル
実行委員会 TEL 090-6459-5136

【東北各地でイベントを開催している団体】

○青森国際ナショナルLGBT フィルムフェスティバル

<http://www.aomori-lgbtff.org/>

○性と人権ネットワーク ESTO

<http://akita.cool.ne.jp/esto/>

○岩手レインボー・ネットワーク

<http://aneblo.jp/iwaterainbownetwork/>

○♀×♀お茶っこ飲み会・仙台

<http://blog.goo.ne.jp/ochakkonomi>

○Ane go <http://blog.canpan.info/anego/>

○やろっこ <http://sendai865.web.fc2.com/>

同性カップルも、おひとりさまも OK なフォトウェディング、県内で始まる

一人ひとりの幸せのカタチ



今年4月、同性カップルやおひとりさまも利用できるフォトウェディングの企画を立ち上げた、青森市の株式会社シャイニングスタープロモーションさん。イベント企画・運営、モデルやスタッフ斡旋を行っている同社では、多様な性を想定した取り組みを進めています。今回は代表取締役である上恵子さんに、企画の経緯や取り組みへの思いなど、お話を伺いました。



◇ “男女” の “ペア” だけのものじゃないよね

元々、弊社のモデル達が特にウェディングドレスを着るお仕事をととても喜んでいて、終わった後に写メを撮り合っているのを見て、「パートナーができて結婚する、という時にしか着られないというのも寂しいなあ」とは思っていたんです。

そんな折、スクランブルエッグさん主催の講習会で様々な性のあり方があると知り、世界が広がりました。自分でも調べたり勉強しているうちに、男女のペアに拘る必要はないし、おひとりさまだろうが同性同士だろうが、何かの節目に写真を撮りたい人はいるはず、と考えるようになりました。

◇ フォトウェディングの企画を立ち上げるまで

まずは社員を集めて研修を開くところからスタートしました。講習会でいただいた資料を元に説明したのですが、みんな特に驚く様子もなく、怪訝そうな顔をする事も勿論なくて。そしてフォトウェディングを行うという話をした時も、それが当たり前かのように普通だったのです。そのことがとても嬉しかったですね。

サイトの紹介ページ用の写真撮影では、趣旨を知ったあるスタッフと家族がブーケを手作りしてくれました。想いが広がっていくのが嬉しかったです。準備をしていて、困難と感ずることはありませんでしたよ。

どこの衣装屋さんと提携するか、ヘアメイクは誰に頼むか、カメラマンは…等については、お客様にもできるだけ安心して利用していただきたいので、私の中で「この人になら」と思う方にだけ企画説明をしました。

自分とは違う人の事を排除したり悪口を言ったり、お客様を選んだり、そういうことはあってはいけませんよね。それってイジメだよなって思ってしまう。



◇ 選択肢を作ることで、メッセージを伝えたい

弊社のアルバイトスタッフは登録制なのですが、その登録カードの性別欄を3月から「男・女・その他」に変更しました。就業時に使用したい通称名や性別がある場合は、その希望が記入できる欄も作りました。

今のところ「その他」に○をつけてきた方はいないのですが、性別欄をなくすのではなく敢えて選択肢を作ったことで、この登録カードを記入する方には弊社の想いが伝わると思っています。

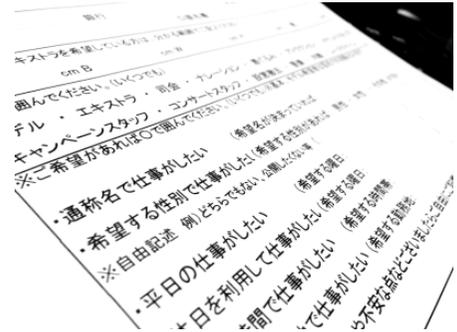
マイノリティの方には勿論、そうではない方達にも、「これが普通なのだ」という事。マイノリティと呼ばれる方が実は沢山いらっしゃるって、でもそれを言えない環境の中で悩んでいる方もいる。そんな現実をもう変えなくてはいけない、これからは男女の区別だけではないんだ！と。

◇色んな人がいて、色んな生き方がある。それが普通のこと

スタッフ登録の手続きで、性別欄のこの選択肢を見た方が「その他の方が今多い時代ですもんね」とおっしゃった事があります。私はその時、内心とても喜んでいたのですが、取えて冷静に「そうですよ」と答えました。

私の理想は、この取組の中で反響が大きくなる、特別なこととして注目されると言うよりは、「色んな人がいて色んな生き方がある。価値観だって人それぞれ。だからそもそもマジョリティとかマイノリティとか分ける事自体がおかしい。それが普通でしょう」という世の中になる事だからです。

他の地元企業でもこれが普通になっていって、最終的には話題にならない位当たり前の事になると良いと思っています。



◇皆同じ。そして同時に、皆違う

実は、この半年前まで自身の性を「中性」ととらえている方がいる事を知りませんでした。他にも、性が「グラデーション」であることや、「ノンセクシャル」等々…数え上げたらきりが無いほど。私もずっと、男女という区別しか知らなかったのです。

講習会に参加して初めて知った事が多く、このままではいけないと思いネットでも色々調べました。スクランブルエッグさんとのご縁から様々なセクシュアリティの方にお会いし、実際にお話を伺う中で新たに分かった事もありました。

その時の感情は——私のパートナーは高知県出身なのですが——パートナーの地元では、いまだに“出身地における差別”があって、そのために行きたい学校や就職したい会社に入れなかったり、結婚ができない、という事を1年前に聞いた時の衝撃と似ていました。



「クローゼット」という言葉が定着しているなんて、悲しい世の中ですよ。

皆同じであると同時に、やはり皆違うのだから、誰もが平等な生活ができない制度や価値観がまかり通っている今の考え方が変わって欲しいです。

その為にもまずは自分の周りからできることを、という事で、登録カードの性別欄への「その他」の記載は第一歩目です。二歩目、三歩目、と歩を進めていくにあたり、自分には何ができるかを模索しているところです。

アグレッシブさだけが私の取り柄ですので、皆さんの想いや希望があれば教えていただきたいなあと思います。

(2015年5月取材)

株式会社シャイニングスタープロモーション
〒038-0058 青森県青森市羽白沢田 798-2
電話：017-752-9290 FAX：017-752-9291
E-mail：shiningstar.promotion@gmail.com
URL：http://www.shiningstar-p.jp/

自分の立場からできることを探し、当たまごのメンバーもびっくり(笑)するくらい積極的に行動する上恵子さん。お話を伺う中で、違いが差別になるようなことをなくしていきたいという思いを感じました。

マジョリティもマイノリティも、誰もが自分らしく輝ける世の中になりますように！

(創)

心の性で生きるために… 心を犠牲にする現実、葛藤

『夜の蝶』…その華やかなイメージと女性にしか出来ない職業に憧れて、二年前スカウトされたのをきっかけにMTFの私は今ホステスをしています。

まだ治療途中で自分に自信などなく、人と接することも苦手でしたが…そんな自分を少しでも変えたいのと、素の自分を出していいと思ったからです。

普通のスナックで周りも普通の女性ばかりの中に一人だけNHとして。

私は自分のセクを隠したくないのでお店にもお客様にもカムしているんですが、一番解ったことは…他人から見たら私が病気が趣味かは関係ないということ。

MTFも女装も一緒に、結局男としか思われていない。

だから私が無意識でする言動も演技に思われ違和感でしかないから、面白おかしくからかわれるだけ。

興味はあっても好意ではない。

周りのキャストと根本的な違い…。

それでも治療を進めるために私はこの世界でガンバルしかないのが毎日葛藤しています。

『蝶』ではなく嫌がられる『蛾』として…。

(うらら)

【文科省が、性的マイノリティの子に配慮求める通知を発表】

4月30日、文部科学省が「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」と題した通知を、全国の小中高校などに通達しました。

2010年にも性同一性障害の児童生徒に配慮を求める連絡をしていましたが、昨年は状況調査を行い、今回の通知で具体的な支援の事例を参考として挙げつつ、児童生徒の状況等に応じ柔軟に対応することを求める内容となりました。

教職員の理解を促進するための研修の必要性や、学校内外にサポートチームを作るなど組織的に取り組む重要性にも言及されています。

そして今回の通知で注目のポイントは、**初めて国が性同一性障害だけでなく「性的マイノリティ」の子どもへの対応を学校に求めている点**です。これは、平成24年の自殺総合対策大綱で、性的マイノリティへの包括的な支援が必要とされた内容を踏まえたもの。

これをきっかけに、県内の学校でも積極的に性的マイノリティについての取り組みが進むことを心から願っています！

(創)

作品等の紹介コーナー

Smash Hit

『きのう何食べた？』

よしながふみ／

モーニング（講談社）／

2007～



几帳面な弁護士・笥史朗と、人当たりの良い美容師・矢吹賢二のゲイカップル2人が2DKのアパートで暮らす毎日を、食生活メインに展開する物語。キャッチフレーズは「2DK 男2人暮らし 食費、月2万5千円也」。

毎回おいしそうな料理が出てきて、レシピもちゃんと描かれています、結構なページ数を使って。単行本がそのまま料理本になりそう。あつ、料理以外にも、ゲイカップルの同棲生活、仕事、家族など、いろいろと描かれていますよ。ぜひご覧ください。おなかせますよ。

(けんじ)

☆☆☆メルマガ登録受付中！！☆☆☆

スクランブルエッグでは、メールマガジンを時々発行しています！登録は無料です(^-^)

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしながら、できることをしてみよう！」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2～3回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただく予定です。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガ希望」と入れて、gochamazetamago@yahoo.co.jp までご連絡くださいね！

【にじたまの主な設置場所】

青森県立図書館／青森市民図書館／青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」／青森市男女共同参画プラザ「カダール」／弘前市立図書館／弘前市民参画センター／弘前大学／FMアップルウェーブ／藤崎町ふれあいざーむ館／平川市文化センター／スポカルイン黒石／五所川原市立図書館／八戸市立図書館／八戸市図書情報センター／八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」／十和田市民図書館／三沢市公会堂／むつ市立図書館